業務部速報

No. 59

発行 15. 3. 17

JR東労組 業務部

全組合員の皆さん！15春闘回答指定日突入！

個別企業判断重視！突出は全くない！

集中回答日せまる！

支払能力は十分にある！

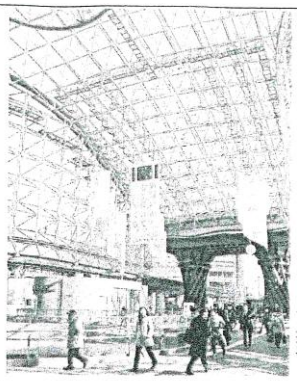
世間相場も後押し！

上野東京ライン始動

上野東京ライン
開業で利便性↗

営業収入はがっちり！（不安要素無し）

北陸新幹線開業



金沢駅東口のもてなしドーム、鼓門の内部＝2月、金沢市

北陸新幹線の金沢―長野間が14日、延伸開業する。東京―金沢間は最速2時間28分で結ばれ「日帰り圏内」となるため、北陸地方では観光客の増加のほか、開発ラッシュ、企業の進出などさまざまな経済効果を誘発している。一方で客を奪われる航空会社や他の観光地は開業後の動向に気をもむ。開業に伴う"泣き笑い"をまとめた。（2面に「主張」）

経済効果は石川で124億円／企業・工場の進出加速

客奪われる航空・ＪＲ東海／京都、学生減少も懸念

2015春闘

トヨタ流バランス決着

「社会的要請」と「突出の懸念」

ベア4000円

2015年春闘でトヨタ自動車の労使交渉が月額4000円のベースアップ（ベア）で決着したのは、トヨタ流のバランス感覚が働いたためだ。産業界を代表する企業として、他企業より突出しすぎず、デフレ脱却に向けた社会的な要請にも応えられる高い水準を探った。春闘相場を左右するトヨタの交渉が決着したことで、他産業や中小企業に高額ベアが波及する期待がある。（小川慎横、本文記事1面）

定期昇給にあたるわせると、組合員1人当たりの賃上げ率は3・2％となり、消費増税に伴う3％程度の物価上昇率をカバーする。

トヨタの労働組合幹部は15日、「そういう（カバー）部分を評価して受け入れた」と説明した。また、「大手が早い段階で（ベアの）水準感を示すことが中小の交渉を後押しする」と述べ、春闘相場への影響に期待を示した。

円安を追い風に15年3月期連結決算の業績予想で、税引き後利益が初めて2兆円を超える見通しのトヨタに対する政府や社会の期待は高かった。トヨタ幹部も交渉の早い段階で「うちが基準というのは理解している」と話していた。

一方で、労使交渉で経営側は「国内トップ水準にあるトヨタの賃金を過度に引き上げれば、（国内工場の）競争力が失われ、将来の雇用を脅かしかねない」と組合側が要求していたベア6000円の満額回答には応じない姿勢を示していた。

ベアが高まれば、グループ各社や取引先の部品メーカー、自動車販売店の賃上げがついてこられない可能性もある。

交渉後半は3000円台後半を巡る攻防となっていた。最終的に、日本経済への貢献と、グループ企業や従業員にも配慮した「現実的な一番高い水準」として14年を上回る4000円の大台入りで決着した。

トヨタの水準は春闘全体の上限である「天井」となることが多い。18日の集中回答日を前に、自動車他社の最終盤の調整も一気に進みそうだ。

日産自動車は4000円以上、ホンダは3000円台で検討が進むとみられる。富士重工業も3000円程度となりそうで、いずれも前年を上回る。中堅や中小メーカーのベア水準も引き上げる効果も生まれそうだ。

しかし、連合の2％要求に沿った6000円の満額回答が得られなかったことに失望する業界もある。

繊維・流通など約250組合、組合員約152万人を抱える連合傘下で最大の産業別労組であるUAゼンセンの幹部は「もう少しほしかった。トヨタのベアは超えられないという空気があるので、5000円を目指している組合にとっては厳しい」と語った。

傘下の組合の賃金水準が低いUAゼンセンは、3％を基準に、最低でも2％の賃金引き上げ要求を掲げていた。今後は、底上げを目指して終盤の交渉に力を入れる方針だ。

交渉後半に向け、気勢をあげるトヨタ自動車労働組合の組合員ら（愛知県豊田市で）

自動車大手のベア回答見通し

	15年要求額	15年回答見通し	14年妥結実績
トヨタ自動車	6000円	4000円	2700円
日産自動車		4000円以上	3500円
ホンダ		3000円台	2200円
富士重工業		3000円程度	2000円
三菱自動車		？	2000円
マツダ		前年上回る	1100円
ダイハツ工業		？	800円
スズキ		？	800円

ベア 航空・外食も

ベアの動きが各業界に広がっている

※年数はベアが実現した場合

	企業名	水準（すかいらーくを除き、交渉中）	特徴
航空	日本航空	2000円	14年ぶり。10年の経営破綻後、初
	全日空	1000円	7年ぶり
小売り	三越伊勢丹	1000円	11年の統合以来初めて
商社	三井物産	基本給の引き上げ（水準未定）	97年以来、18年ぶり
外食	ロイヤルHD	2000円	16年ぶり。全社員が対象
	すかいらーく	4300円	2年連続。満額回答
銀行	三菱東京UFJ	2.0%	2年連続
	三井住友 みずほ	1.5%	
保険	損保ジャパン日本興亜 東京海上日動	2.0%	20年ぶり
	三井住友海上		19年ぶり

日航14年ぶり

すかいらーく満額4300円

あとは、会社判断だ！

突出したっていいじゃない

会社判断を突き動かす、全組合員の団結力を強化しよう！